

令和6年度 第2回 学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立和泉支援学校
校長名	芥川 豊和

開催日時	令和6年11月13日(水)10:00 ~
開催場所	大阪府立和泉支援学校
出席者(委員)	藤井会長、石田委員、永井委員、菅野委員、奥林委員、 欠席 岸田委員
出席者(学校)	芥川校長、大原教頭、橋本教頭、山本首席、東首席・高等部主事 阿部首席・米田中学部主事、廣田首席、大野小学部主事
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第1回学校運営協議会 次第 ・令和6年度学校経営計画 ・令和6年度学校教育自己診断アンケート ・令和6年度授業アンケート

議題等(次第順)

- (1) 令和6年度学校経営計画
- (2) 令和6年度学校教育自己診断アンケート
- (3) 令和6年度授業アンケート

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- (1) 令和6年度学校経営計画・・・承認
- (2) 学校教育自己診断アンケート・・・承認
- (3) 授業アンケート・・・承認

<意見等>

(1)

・交流及び共同学習について、受け入れ側の学習内容の負担があると思うが、支援学校教員が付き添いをしている等踏まえてICTを活用し、打ち合わせなど業務改善をした方が良い。

・交流及び共同学習の取り組みが知られていないので大きく発信をした方が良い。地域の小中学校が知的障がいのある児童生徒への教育活動が充分できていない。支援学校での取り組みの発信を積極的にしてほしい。

・地域の小中学校の保護者の希望として高等学校に行くことが目標になっている。障がいのある人も働いてお金を稼いで生活をするを早期から意識させてほしい。

・地域の小中学校の支援学級が増え、支援学校の小中学部の在籍人数が増えている。

・高等部卒業後、家で一人でいる力、お金がほしいと思う力が必要。そのためには生活を不便にして生活を遊びに変えて取り組むことが大事。

(2) 学校教育自己診断を出していない保護者はどのような理由か。無記名なので分からない。学校教育自己診断に保護者の自己チェック表をつけるのはどうか。

(3) 質問項目を分けた理由。授業アンケートについて評価基準を明確にして内容を精査する必要がある。回答率の低さは質問の答えにくさに原因がある。

次回の会議日程

日時	令和6年11月16日(水)
会場	大阪府立和泉支援学校